

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)

【公表番号】特表 2009-516046 (P2009-516046A)  
 【公表日】平成 21 年 4 月 16 日 (2009.4.16)  
 【年通号数】公開・登録公報 2009-015  
 【出願番号】特願 2008-541063 (P2008-541063)  
 【国際特許分類】

C 0 8 J 9/26 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 9/26 1 0 2

C 0 8 J 9/26 C E R

C 0 8 J 9/26 C E Z

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成 24 年 6 月 22 日 (2012.6.22)  
 【誤訳訂正 1】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0 0 5 9  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【 0 0 5 9 】

< 実施例 2 >

半結晶性高分子として重量平均分子量が  $4.0 \times 10^5$  g/mol でモノマーとしてブテン - 1 が 0.5 重量% 含まれた高密度ポリエチレン 90 重量% と重量平均分子量が  $4.5 \times 10^5$  の ホモポリプロピレン 10 重量% が使用された。希釈剤としてはジブチルフタレートが使用された。半結晶性高分子と希釈剤の重量比は 35 / 65 であり、体積率は 37.6 / 62.4 であった。使用された高密度ポリエチレンの熱含量は 155 J/g で結晶度は 52.5 % であり、シート内での熱含量は 58.5 J/g で希釈剤とポリプロピレンを除いては結晶度は 63.0 % であった。使用された ホモポリプロピレン の熱含量は 85 J/g で結晶度は 59 % であり、シート内での熱含量は 3.8 J/g で希釈剤とポリエチレンを除いては結晶度は 74.9 % であった。従って、使用された半結晶性高分子樹脂の平均結晶度は 53.1 % であり、シート内における平均結晶度は 60.9 % であった。その他の製造条件は実施例 1 と同一に行った。延伸は 118 で同時延伸で縦方向、横方向の夫々 6 倍に施した。抽出、乾燥及びエージングの後得られたフィルムの厚さは 16  $\mu$ m であった。気泡領域及び膨潤領域の割合そして製造されたフィルムの特性を表 1 に整理した。